



リカンイクル白頭鷲がデザインされ、正面にはベルとクソドイヤーのステッカーが貼られていた。そのモデルはスターIIで、ケニーとアメリカに無条件で憧れていたヤツらは、上野ではちょっと高かったけれど、バイク代を貯めて無理して買ったものだった。これを被って、ヒザにアメリカ製の銀色のガムテープを貼れば、ケニーのようなハンゴオンが出来るんじゃないか

と夢見たのだ(僕も石橋は日本ではとても買えず、78年にアメリカで何とか手に入れた)。実際、アメリカでもわかってる風のストリートファイター、DGGのラジアルフェイス付きRD400とかGS1000とかに乗っているヤツらにスターIIは多かった。ケニーは79年にツナギをベイツ(ラブリ)でワッペンをなし、買ったけど、からイタリヤ製タイネゼに換え、もうとビクビクした。でも、ヘルメットはベル。それが80年に「おや」となった(イエローで白頭鷲も描かれていた。個人的な話だけど、ここでケニーへの憧れはだいぶ薄れ、グランプリ史上最高のシーズンを迎えるケニー対フレディの88年は、マルボロカラーで、全然憧れのケニー・ロバートツではなくなりました。

マルボロカラーのベルは、エディ・ローソンなのだ。A MAのカワサキ時代のベルも悪くはないけれど、やっぱりグランプリのM2だ。ビズはなくて、エディが自分でメンテナンしてた。アライは毎戦来ていた。転ばないアライはヘルメットを壊さず、市販品よりずっと厚いシートを交換するだけ。でも、エディ

のグランプリ用は帽体も内装もまるで違っていた。持たせようとした手が思わす上がるほど軽い!! 「カードが割れ、疲れないよ、軽いからね。ひとりでやるよ!」

と言われたけど、サイズが全然小さくて「おそろしくSくらい」被れそうにないから遠慮した。これは10年くらい経つてすぐ後悔した。あのカーボンM2は、後に10数万円だから市販されることになる。エディのM2スペシャルは、内装も黒っぽいのと赤があって、これはヘルメットの担当者の意向。シマン半はで切り替えるらしいよ」と本人。半シーズンで3個供給されたと思っ。これが86年の話。その後エディは88年途中でショウエイに、でも89年、デイトナ200にバンス&ハインスカラーで現れたときはベルだっ。それもインディカーに使うような空力用突起(カラスの足跡)付きの、これまたカーボンの超軽量。どうして、まヘル?

昔からの知り合いがいます。このデザインもベルの人のだよ。そう。ケニーのもヘルのデザインだっ。で、この4輪風ベルは、その後スコット・パーカーなんかもテストで使っていた。やっぱりアメリカ人はベル。ウエイン・レイニーのアメリカ時代、M2も良かったし、MXのヒーロー、稲妻マークのホブ・ハチのモトも最高だった。FRP製ヘルメットの原型となった世界初のジェットヘルメットの500や、世界初のフルフェイス、スターを生んだ歴史よりも、やっぱりケニーやエディが被っていたこと。それが僕らのベルの歴史なのだ。

黄色いケニーのスターII、赤いエディのM2

あの頃、そうケニー・ロバートツがインターカライメージのままラブリの500にフルエントリーを開始した78年、ベルは本場に輝いて見えた。アメリカ製で、しかもケニーが被っている。ケニーのグランプリ用ベルは、A MAのダートトラックをベースに、750で走っていた頃のストロホパインのインターカラーと違って、アメ

と夢見たのだ(僕も石橋は日本ではとても買えず、78年にアメリカで何とか手に入れた)。実際、アメリカでもわかってる風のストリートファイター、DGGのラジアルフェイス付きRD400とかGS1000とかに乗っているヤツらにスターIIは多かった。ケニーは79年にツナギをベイツ(ラブリ)でワッペンをなし、買ったけど、からイタリヤ製タイネゼに換え、もうとビクビクした。でも、ヘルメットはベル。それが80年に「おや」となった(イエローで白頭鷲も描かれていた。個人的な話だけど、ここでケニーへの憧れはだいぶ薄れ、グランプリ史上最高のシーズンを迎えるケニー対フレディの88年は、マルボロカラーで、全然憧れのケニー・ロバートツではなくなりました。

マルボロカラーのベルは、エディ・ローソンなのだ。A MAのカワサキ時代のベルも悪くはないけれど、やっぱりグランプリのM2だ。ビズはなくて、エディが自分でメンテナンしてた。アライは毎戦来ていた。転ばないアライはヘルメットを壊さず、市販品よりずっと厚いシートを交換するだけ。でも、エディ

のグランプリ用は帽体も内装もまるで違っていた。持たせようとした手が思わす上がるほど軽い!! 「カードが割れ、疲れないよ、軽いからね。ひとりでやるよ!」

と言われたけど、サイズが全然小さくて「おそろしくSくらい」被れそうにないから遠慮した。これは10年くらい経つてすぐ後悔した。あのカーボンM2は、後に10数万円だから市販されることになる。エディのM2スペシャルは、内装も黒っぽいのと赤があって、これはヘルメットの担当者の意向。シマン半はで切り替えるらしいよ」と本人。半シーズンで3個供給されたと思っ。これが86年の話。その後エディは88年途中でショウエイに、でも89年、デイトナ200にバンス&ハインスカラーで現れたときはベルだっ。それもインディカーに使うような空力用突起(カラスの足跡)付きの、これまたカーボンの超軽量。どうして、まヘル?



R/R TOP TOPICS!

アメリカン・ビッグレジェンド BELL再上陸!

'54年創業。'58年から世界初のジェットヘルメット BELL500を市販開始し、'67年には世界初となるフルフェイス、スターを発売。そしてケニーやエディが被った憧れBELL。それが最新仕様であの雰囲気のまま現れた。



左は'85年WGPのエディで、中は'86年デイトナ200のエディ(FZ750)。右後ろにはアモンVFR750Fのレイニー。右は'81年のエディ(KZ1000J)。帽体はいずれもM2ベース。'86年仕様はカーボンの超軽量

スペシャルで内装は固定式。シールドは3mmはあったと思う。レイニーは'87年まで、エディは'88年シーズン途中までベルを使用した。エディは'93年デイトナで再度ベルを被り、同年のスカ8耐久選まで使った

R/R TOP TOPICS! アメリカン・ビッグレジェンド BELL再上陸!